



出産・子育て応援事業

妊娠から出産・子育てまで 切れ目なくサポート

久留米市は、全ての妊産婦や子育て家庭が安心して出産・育児ができる環境づくりを進めています。今回、相談支援と経済的支援の取り組みを一体化した新たな取り組みを行います。



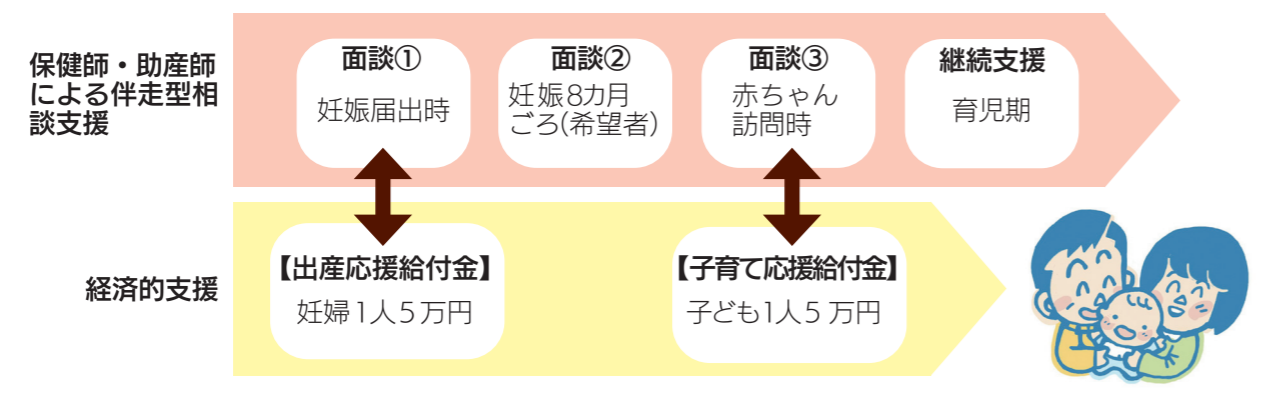
面談では、専門職に不安なことなども気軽に相談できるので安心です

妊娠8カ月目に面談も
市は、妊娠届出時と出産後に保健師や助産師などの専門職による面談を行っています。今回から新たに妊娠8カ月を迎える時期に面談を実施します。妊娠期から出産・子育て期まで一貫して、妊婦やその家族が安心して過ごせるよう、保健師や助産師などがサポート。不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供の他、支援が必要な家庭には、適切なサービスにつなげます。妊娠届出時は、妊娠中の過ごし方など基本的情報を提供。出産前の妊娠8カ月目に面談し、不安なく出産を迎えられるよう寄り添います。

出産後は、乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育て支援拠点や産後利用できるサービスの紹介などを行います。
妊娠8カ月目の人には、7カ月ごろに市からアンケートが届きます。電子申請で回答できます。面談希望者には、後日、市から連絡します。面談はオンラインでも可能です。
☎子ども子育てサポートセンター
0942・30・9302、
FAX 0942・30・9718

給付金で出産・子育てを応援
市は、相談支援と合わせて経済的支援を行います。妊娠届出時に出産応援給付金として妊婦1人に5万円、出産後に子育て応援給付金として子ども1人当たり5万円を支給。所得制限はありません。本人面談時に、申請の案内をします。令和4年4月1日以降に出産した人なども対象です。対象者には、2月下旬から申請案内を送付します。
☎子ども給付金コールセンター
0942・30・9739、
FAX 0942・30・9718

出産・子育て応援事業の流れ



水野暁《日本の樹・二本の杉（白山神社／東吾妻町・伊勢の森／中之条町）》
2018-22年 個人蔵



深堀隆介《桜升 命名 淡紅》
2017年 平塚市美術館蔵



松本喜三郎《カニ》
1888年 公益財団法人島田美術館蔵

2月11日(祝)から久留米市美術館で「リアル写実のゆくえ」が開催されます。明治期以降の日本の絵画や彫刻、工芸における写実表現が、現代にどのように継承され、再考されてきたのかを探る展覧会です。
日本と西洋で異なる「写実」
日本には、鎌倉時代の仏像や江戸期の自在置物など、固有の写実表現がありました。明治期に近代化の流れで、西洋由来の写実表現を本格的に受け入れます。以降、日本と西洋の異なる「写実」が日本で混在することとなりました。結果、高橋由一は部分描写を重視したリアリズム絵画を生み出し、高村光雲は、伝統的な日本の彫刻に、西洋的な造形を加えた精緻な表現を試みました。日本と西洋の「写実」が交わる表現は、現代を生きる作家たちにも受け継がれています。現代作家の七瀬綾乃や満田晴穂などの彫刻作品、本田健の油彩画、秋山泉の鉛筆画などには、対象の細部へのこだわりも見ることでできます。

日本の「リアル」を探る
展覧会では、日本の写実を26作家約120点の作品を手がかりに探ります。明治期の松本喜三郎たちの生人形、高橋由一の油彩画、高村光雲の彫刻などを導入として、水野暁や小谷元彦ら現在活躍中の作家による作品を展示。作品は、大きさや素材、技法も異なります。立体と平面が混じる空間で、作家が「リアル」に何を求めているのかを感じる事ができます。会期中、関連イベントも実施。詳しくは、市美術館ホームページで確認してください。
◆会期 2月11日(祝)から4月2日(日)までの10時～17時。入館は16時30分まで。月曜は休館。2月11日(祝)、25日(土)、4月1日(土)は19時まで延長開館します ◆入館料 一般1000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下無料。前売り券600円。チケットぴあ、ローソンチケットなどで販売
☎久留米市美術館 0942・39・1131、FAX 0942・39・3134

リアル写実のゆくえ

現代の作家たち 生きること、写すこと



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER